

30年前の自分に会えた!

タイムカプセル開封・名和小学校

名和小学校で、8月15日にタイムカプセルが開けられました。これは、当時の名和小学6年生が卒業記念にと発案。昭和59年3月、縦・横55センチ、深さ60センチほどあるアルミ製のタイムカプセルを埋めたもので、カプセルには6年生の思い出の品々のほか、1年生から5年生の作文や絵なども一緒に納め、30年後の開封を皆で約束していました。



▲開封の瞬間

開封式には、当時校長だった豊嶋利通さんも出席。「30

年を経てみなさんの前に姿を見せることができている。願ったとおりになっていない人もあるかもしれないが、夢に向かつてがんばって」とあいさつ。当時の1〜6年生やその家族ら約160人と開封の瞬間を見守りました。実行委員長を務めた林田徹さんは「準備は大変だったが、皆が喜んでくれた。家族を連れて一緒に開けることができ、それぞれの30年が感じられてよかったです」と話されました。



▲私の作文あった!

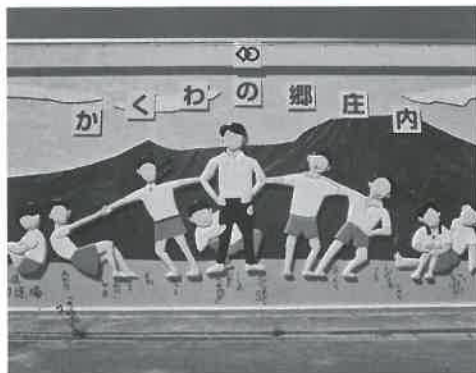
(タイムカプセルは名和小学校統合時に、一度掘り起こして移設しています)

壁塗りイベント

海岸清掃作業に汗流して

4月から地域自主組織としての活動を始めた、かくわの郷庄内(庄内地区)。子どもたちに、地域への愛着や楽しい思い出を作ってもらおうと、旧庄内小学校南校舎の壁塗りイベントを8月8日(土)に行いました。

イベント当日は、庄内地区の子どもたちや保護者が多数参加し、手の届きにくい部分は大人が手伝うなど、みんなで協力しながら楽しく壁に色をつけました。



▲壁が明るく華やかに

また、8月23日(日)に

は、庄内地区海岸一斉清掃が行われました。子どもから100人を超える参加者が集まりました。

海岸清掃活動は、地域環境の美化意識やボランティア意識の高揚を図ること、交流を深めることを目的に行っています。厳しい暑さの中、みなさん声をかけあいながら、作業に汗を流しました。



▲大量のゴミを収集しました

古文原が2年連続5回目の優勝!

大山町ソフトボール ナイターリーグ2015

今年の夏も名和スポーツランド町民野球場で、8チームが熱戦を繰り広げました。今年も古文原と小竹が予選リーグから順当に勝ち上がり、優勝決定戦は小竹の棄権によって、古文原の不戦勝となりました。

結果は次のとおりです。

優勝 古文原

準優勝 小竹

第3位 押平1・2パンチ
最多本塁打賞 山田賢一(押平1・2パンチ)



▲優勝の古文原チームのみなさん